

おじいちゃんの甲子園開催記念 還暦野球大会開催

6月1日

総合グラウンドにおいて、「おじいちゃんの甲子園開催記念還暦野球大会」を開催しました。

本大会には、東京都や大阪府など県外や、県内から合計8チームが集まり、市内からは「宇陀ウェルネス」が参加しました。



東京都から参加の「品川エンジェルス」のチームメンバーには、球児あこがれの元プロ野球選手が4人在籍されています。その中から今回は、高校時代に3年連続夏の甲子園に投手で出場され、東映フライヤーズにドラフト2位で入団された保坂英二さんと、同じく甲子園選抜大会に出場され、大学時代には江川卓さんとバッテリーを組み、その後ノンプロを経て横浜大洋ホエールズに入団、現役を退かれてからは、60歳まで、大洋・楽天・DeNAのコーチとしてもご活躍された高浦美佐緒さんの2人が参加されました。

当日は好天に恵まれ、選手たちは、あこがれの元プロ野球選手との対戦に心躍らせながら、「健康・生きがい・交流」を育むべく、正々堂々と戦っておられました。

試合後は、市内の良質な温泉で汗を流され、美しい自然環境や歴史的風土とともに、宇陀の魅力を十分に堪能されたと思います。



▲東京から参加の「品川エンジェルス」チーム
前列左から保坂さん、高浦さん



故郷の子どもたちのために 遊具等を寄贈いただきました

東京都在住の野田順弘さん（室生向湊出身）より、室生地域の子どものための教育振興や体育施設等の充実のためにいただいたご寄附で、室生中学校にテント4張、室生小学校に遊具（ロープウェイ1連）、室生こども園に遊具（ブランコ1基・のぼり棒1基）を購入しました。

それぞれの物品は、熱中症対策や子どもたちの体力・運動能力の向上のために活用させていただきます。



▲室生小学校の遊具



▲室生中学校のテント



▲室生こども園の遊具

図書館の職員さんに
聞いてみよう!

本のはなし

話題の
新刊本!



1分音読「万葉集」

著者：齋藤 孝
出版：ダイヤモンド社

「万葉集」の中から、名もなき人から天皇までが詠った万葉の秀歌を厳選。原文の漢字や口語訳、背景や語句説明や作品解説とともに使える万葉フレーズを紹介する。
(中央図書館所蔵)



こぶとりさんとワニくんの
いどうはんぱいの1日

萱間 ふみ 絵と文
松本 えつを 監修
出版：CHICORA BOOKS
三恵社（発売）

すてきな洋服をつくっている、こぶとりさん。ワニくんは、こぶとりさんの大事なアシスタントで、相棒です。月に1度の移動販売の日、荷物を積み込んでお客様のものとへ…。みんなをしあわせにするための「大切な1日」のお話。
(中央図書館所蔵)

図書館からの まめ知識 Vol.65

『どすこい!』 かぶとてつお
おひさまよ まぶしく ひかれ
なつよ こい!
ぼくは くろく ぴかぴかの
かぶとむし

くわがたよ こがねむしよ
にゅうどうぐもよ
すもうとろうぜ どすこい!
ぼくは げんきで つやつやの
かぶとむし

あついかぜを ふところにいれて
かぶとむし たちあがり
でっかい「なつ」を
えいやっ! と うっちゃり

かぶとむしの かち!
(『のはらうたV』工藤直子 童話屋)

30度を超える猛暑が続いていますね。夏本番真っ只中! 「でっかい『なつ』」という表現がこの暑さにピッタリだと思いませんか? 「かぶとてつお」君を見習って、私たちもこの暑さを「えいやっ! と」うっちゃって乗り切りたいものです。

おはなし会やその他のお知らせは P25

あじさい祭り

6月23日～29日

6月23日から29日まで、室生公園あさぎりの里において、室生あじさい祭り実行委員会の主催で「室生あじさい祭り」が開催されました。室生のあじさいは地元の方が、丹精をこめて育てられたもので、期間中は公園一面に広がる、色鮮やかなあじさいを多くの方に観賞いただきました。

期間の初日には、オープニングイベントとして、室生の伝統芸能やヨガ、餅つき大会が行われ、最終日のグランドフィナーレでは、獅子舞、和太鼓、ポールダンス、フラダンス、手筒花火のパフォーマンスが祭りに華を添えてくれました。

期間中は約300人の方にお越しいただき、大盛況のうちに祭りを終えることができました。



差別をなくす市民集会開催 7月13日

文化会館において差別をなくす強調月間の取り組みのひとつとして、三遊亭究斗さんをお迎えし、「ピンチをチャンスに変える キュートな生き方!」という演題でミュージカル落語の公演を開催し、300人を超える方が参加しました。

イジメ撲滅の願いを込め、いじめに遭っていた少年が、ある老人との出会いをきっかけに、いじめを克服していく物語「一口弁当」が上演されました。「笑いで心が開けば人は変わる」という思いにふれ、会場は絶えず笑いと感動の渦に包まれました。また、公演の中で「考え方ひとつで未来は変えられる」「イジメでもうダメだと思ったら誰かに相談してほしい」と呼びかけられ、イジメについて考える良い機会となったのではないのでしょうか。



▲講演された三遊亭究斗さん（右）と、ピアノ伴奏の松尾美保さん

▲人権作文を発表された、大家衣穂理さん